

授業科目等の概要															
(医歯薬専門課程 歯科衛生士学科午前部) 令和7年度															
分類 必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期 1前	授業時数 30	単位数 2	授業方法		場所 校内	教員 専任	企業等との連携	実務教員による授業
				講義	演習	実験・実習・実技				校	外				
○			導入教育	専門学習に臨むにあたり、能動的学習の基礎および汎用的技能を身につける。			1前	30	2	○	○	○	○	○	
○			コミュニケーションスキルアップ検定	歯科衛生士として必要なコミュニケーションスキルを身につける。			1前	15	1	○	○	○	○	○	
○			情報処理	SNSやHPを作成し、適切に情報発信ができる技術・知識を身に付ける。			1前	15	1	○	○	○	○	○	
○			生物・化学	一般生物化学の基礎的事項を習得し、解剖・組織発生・生理学・生化学の学習へつなげる			1前	15	1	○		○	○	○	
○			解剖学	人体の構造について理解する。			1前	30	2	○		○	○	○	
○			生理学	人体の諸機能について理解する。			1前	15	1	○		○	○	○	
○			栄養生化学	歯を中心とした口腔の主要な生化学的变化と栄養素の基礎やヒトの体内での代謝について理解する。			1前	30	2	○		○	○	○	
○			歯牙解剖学	歯の構造と機能について理解する。			1前	15	1	○		○	○	○	
○			口腔生理学	口腔の諸機能について理解する。			1前	15	1	○		○	○	○	
○			歯科保健指導論Ⅰ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。			1前	30	2	○	○	○	○	○	
○			歯科予防処置論Ⅰ	歯科予防処置に必要な基礎知識および予防的歯石除去の方法について理解する。			1前	15	1	○	○	○	○	○	
○			歯科予防処置論Ⅱ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。			1前	30	2	○	○	○	○	○	
○			歯科診療補助論Ⅰ	歯科診療補助の法的な位置付けを理解し、診療の流れに則した補助に必要な知識、技術を身に付ける			1前	15	1	○	○	○	○	○	

○		歯科診療補助論Ⅱ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	1 前	30	2		○	○	○	○	○	
○		歯科衛生士概論	歯科衛生士の歴史や役割、心構えについて学び、歯科衛生士の意義を理解する。	1 前	15	1	○		○	○	○	○	
○		歯科材料学	歯科材料の組成について学び、特製に応じた取り扱いを理解する。	1 前	15	1	○		○	○	○	○	
○		一般教養	専門分野の学習を能動的に行うために必要な基礎知識を身につける。	1 後	15	1		○	○	○	○	○	
○		キャリアデザイン	将来像を明確にし、学ぶ姿勢を身につける。	1 後	15	1		○	○	○	○	○	
○		口腔解剖学	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について理解する。	1 後	30	2	○		○	○	○	○	
○		病理学・口腔病理学	全身や口腔領域に発生する病変の原因や発生機序について理解する。	1 後	30	2	○		○	○	○	○	
○		薬理学・歯科薬理学	薬物の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に使用するために必要な知識を理解する。	1 後	30	2	○		○	○	○	○	
○		微生物学・口腔微生物学	微生物の基礎知識およびそれらによって引き起こされる歯科領域の疾患について理解する。	1 後	30	2	○		○	○	○	○	
○		口腔衛生学Ⅰ	口腔衛生の意義、歯口清掃、う蝕の予防、歯周疾患の予防について理解する。	1 後	30	2	○		○	○	○	○	
○		歯科予防処置論Ⅲ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	1 後	30	2		○	○	○	○	○	
○		歯科予防処置論Ⅳ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	1 後	30	2		○	○	○	○	○	
○		歯科保健指導論Ⅱ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	1 後	30	2		○	○	○	○	○	
○		歯科診療補助論Ⅲ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	1 後	30	2		○	○	○	○	○	
○		歯科診療補助論Ⅳ	臨地臨床実習に必要医療安全および記録化の知識および技術を学ぶ。	1 後	15	1		○	○	○	○	○	
○		歯科臨床概論	歯科臨床のシステムや診療の流れを学び、歯科衛生士の役割を理解する。	1 後	15	1	○		○	○	○	○	

○		栄養指導	栄養素の基礎やヒトの体内での代謝など生命維持に必要な栄養摂取と口腔疾患との関係を学ぶ。	1 後	15	1	○			○		○	○	○
○		臨地・臨床実習 I	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	1 後	135	3			○	○	○	○	○	○
○		歯科英語	歯科に関する単語を中心に患者とコミュニケーションが取れる力を身につける。	2 前	15	1		○	○		○	○	○	○
○		衛生統計	社会ニーズに応じた保健情報の考え方と収集法、保健衛生に関する統計の知識を習得する。	2 前	15	1	○		○		○	○	○	○
○		口腔衛生学 II	口腔衛生の意義、歯口清掃、う蝕の予防、歯周疾患の予防について理解する。	2 前	30	2	○		○		○	○	○	○
○		保存修復学	歯の硬組織疾患の修復について理解する。	2 前	15	1	○		○		○	○	○	○
○		歯内療法学	歯の内部やその周囲における疾患の治療方法について理解する	2 前	15	1	○		○		○	○	○	○
○		歯科補綴学	歯科補綴治療の流れを理解し、さらに歯科技工との関連について理解する。	2 前	30	2	○		○		○	○	○	○
○		矯正歯科学	矯正歯科学の基礎知識を理解し、矯正治療の流れを習得する。	2 前	15	1	○		○		○	○	○	○
○		口腔外科学	口腔外科領域の疾患について理解する。	2 前	30	2	○		○		○	○	○	○
○		歯科放射線学	放射線の基本知識とエックス線撮影に際しての診療補助について理解する	2 前	15	1	○		○		○	○	○	○
○		臨床検査	各種検査の方法とその結果から得られる情報について理解する	2 後	15	1	○		○		○	○	○	○
○		歯科保健指導論Ⅲ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	2 前	30	2		○	○	○	○			○
○		歯科予防処置論 V	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	2 前	30	2		○	○	○	○			○
○		う蝕予防処置論	う蝕予防処置に必要な知識と技術を習得し理解する。	2 前	15	1		○	○	○	○			○
○		歯科診療補助論 V	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	2 前	30	2		○	○	○	○			○

○		臨地・臨床実習Ⅱ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2 前	135	3			○	○	○	○	○
○		心理学	医療における人の行動の全人的理解の基礎の習得を目的とする。	2 後	15	1	○		○		○		○
○		医療倫理	医療人として必要な倫理観について理解する。	2 後	15	1	○		○		○		○
○		衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生の意味や意義、健康の概念や予防の考え方などを身につける。	2 後	30	2	○		○		○		○
○		歯周治療学	歯周治療における歯科衛生士の役割を理解し、的確な判断力と正確な技術を身につける。	2 後	15	1	○		○		○		○
○		小児歯科学	小児の特性を理解し、小児歯科治療の流れを理解する。	2 後	30	2	○		○		○		○
○		高齢者歯科学	高齢者の特性を理解したうえで、高齢者歯科治療の実際を理解する。	2 後	15	1	○		○		○		○
○		障がい者歯科学	障害者の特性を理解したうえで、障害者歯科治療の実際を理解する。	2 後	15	1	○		○		○		○
○		歯科保健指導論Ⅳ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	2 後	30	2		○	○	○			○
○		歯科診療補助論Ⅵ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	2 前	30	2		○	○	○			○
○		歯周病予防処置論	歯周病予防処置に必要な知識と技術を習得し理解する。	2 後	15	1		○	○	○			○
○		歯科予防処置論Ⅵ	歯科衛生過程に基づき、長期目標・短期目標を立て、患者実習内において実際に患者指導ができるようにする。	2 後	30	2		○	○	○			○

○	臨地・臨床実習Ⅲ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2 後	225	5		○	○	○	○	○
○	スポーツ歯科	スポーツに起因する歯科的な外傷の予防において歯科衛生士の役割を知る。	2 後	15	1	○	○	○	○	○	○
○	口腔ケア・口腔リハビリテーション演習	器質的口腔ケアおよび機能的口腔ケアの知識および手技を学ぶ。	2 後	15	1	○	○	○	○	○	○
○	介護技術演習	地域保健活動の基礎を理解し、歯科衛生士の役割について理解する。	2 後	30	2	○	○	○	○	○	○
○	審美歯科	審美歯科の概要について知る。	2 後	15	1	○	○	○	○	○	○
○	ホワイトニング演習	ホワイトニングの知識・技術・カウンセリングについて学ぶ	2 後	30	2	○	○	○	○	○	○
○	トータルビューティー	「美しさ」の定義を医療人の視点で捉え、それを実現するにあたっての様々な手法について習得する。	2 後	15	1	○	○	○	○	○	○
○	国際教育	国際的な感性を身につけることで、相手を理解する気持ちや自分の事を良く知り、主張できる力を身につける。	2 前	15	1	○	○	○	○	○	○
○	衛生行政	歯科衛生士として業務に就くにあたり必要な知識を理解する。	3 前	15	1	○	○	○	○	○	○
○	社会福祉学	社会保障制度や社会保険のしくみについて理解する。	3 前	15	1	○	○	○	○	○	○
○	臨地・臨床実習Ⅳ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	3 前	405	9	○	○	○	○	○	○
○	食支援演習	医療現場で必要な介護技術の基本の知識、手技の習得を目的とする。	3 前	30	2	○	○	○	○	○	○
○	摂食嚥下機能訓練	摂食嚥下障害について理解し、トレーニング方法を習得する。	3 前	15	1	○	○	○	○	○	○
○	インプラントアシスト	インプラント治療の概念を理解し、アシストワークに必要な知識・技能を身につける。	3 前	15	1	○	○	○	○	○	○
○	審美歯科演習	審美歯科の知識と技術を学ぶ。	3 前	30	2	○	○	○	○	○	○
○	歯科衛生士総合講座	歯科衛生士に必要な知識・技術を総合的に修得する	3 後	315	21	○	○	○	○	○	○
合計		73 科目	卒業に必要な総時間数				2580単位時間(132単位)				
			取得可能な総時間数				2625単位時間(133単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学年毎に必修単位数を修得したものは進級となる。卒業時までに必要な科目を履修し（2580時間、132単位）、学校長が適当と認めた者は卒業となる。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週